

令和8年（2026）2月 入域観光客数概況（確定版）

84万2,800人
対前年（R7）同月比 +6万1,400人、+7.9%
～2月としては過去最高～

【更新履歴】①令和8年3月25日速報版公表
②令和8年5月25日確定版公表

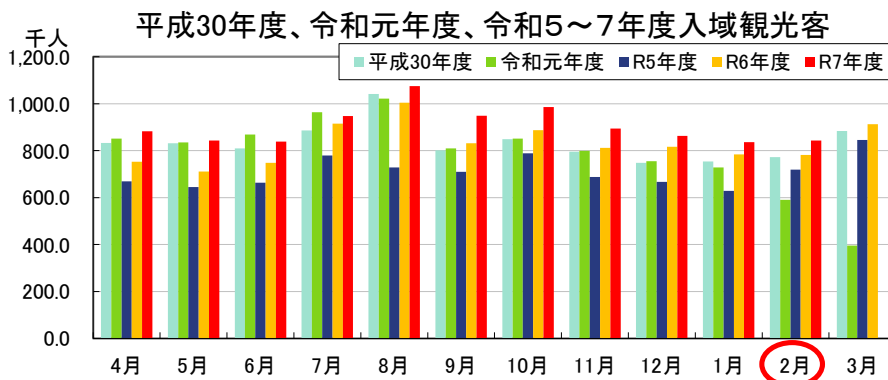
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、5月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R6年度と※H30年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※H30年度
国内客	623,500人	606,400人	+17,100人	+2.8%	74.0%	532,100人
空路	621,300人	604,400人	+16,900人	+2.8%	73.7%	526,800人
海路	2,200人	2,000人	+200人	+10.0%	0.3%	5,300人
外国客	219,300人	175,000人	+44,300人	+25.3%	26.0%	240,100人
空路	173,000人	130,300人	+42,700人	+32.8%	20.5%	138,800人
海路	46,300人	44,700人	+1,600人	+3.6%	5.5%	101,300人
合計	842,800人	781,400人	+61,400人	+7.9%	100.0%	772,200人

※外国客には、海路における乗務員等13,400人を含む。



国内客 入域状況

2月は、地方チャーター便の運航があったことのほか、プロ野球キャンプ等の県内イベントの開催により、前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	305,200人	294,600人	+10,600人	+3.6%	48.9%
関西方面	125,500人	124,900人	+600人	+0.5%	20.1%
福岡方面	80,800人	74,700人	+6,100人	+8.2%	13.0%
名古屋	57,800人	54,200人	+3,600人	+6.6%	9.3%
その他	54,200人	58,000人	△3,800人	△6.6%	8.7%
合計	623,500人	606,400人	+17,100人	+2.8%	100.0%

参考:国内線経由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	17,600	54%	11,600	52%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	3,100	9%	2,200	10%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	5,700	18%	4,600	21%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	400	1%	300	1%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	100	0%	100	1%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	5,600	17%	3,200	15%	
合計	32,500	100%	22,000	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出(推計方法が異なるため、年度比較に留意)。
 ※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

2月は、航空会社的那覇-台北路線(2月3日~)や下地島-台中路線(2月13日~3月27日)の新規就航、石垣-台北路線(2月4日)や下地島-台北路線(2月12日~3月27日)の運航再開があったことから、前年同月を上回った。特に、台湾・韓国・香港からの観光客は過去最多を記録した。外国客総数については、平成30年度に次ぐ記録となった。

トピック ▶【台湾】チャイナエアライン是那覇-台中路線(7月21日~)を週7便で運航再開予定。

外国客 国籍別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	97,500 人	53,300 人	+ 44,200 人	+82.9%	44.5%
韓国	58,500 人	46,400 人	+ 12,100 人	+26.1%	26.7%
中国本土	19,400 人	37,400 人	△ 18,000 人	△48.1%	8.8%
香港	15,000 人	11,000 人	+ 4,000 人	+36.4%	6.8%
アメリカ	3,200 人	4,000 人	△ 800 人	△20.0%	1.5%
タイ	1,700 人	1,700 人	+ 0 人	+0.0%	0.8%
シンガポール	1,600 人	1,500 人	+ 100 人	+6.7%	0.7%
その他	22,400 人	19,700 人	+ 2,700 人	+13.7%	10.2%
合計	219,300 人	175,000 人	+ 44,300 人	+25.3%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等13,400人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	85,700 人	53,300 人	+60.8%	49.5%	11,800 人	0 人	皆増	25.5%
韓国	58,500 人	46,300 人	+26.3%	33.8%	0 人	100 人	皆減	0.0%
中国本土	5,800 人	11,100 人	△47.7%	3.4%	13,600 人	26,300 人	△48.3%	29.4%
香港	13,400 人	10,900 人	+22.9%	7.7%	1,600 人	100 人	+1500.0%	3.5%
アメリカ	1,900 人	1,700 人	+11.8%	1.1%	1,300 人	2,300 人	△43.5%	2.8%
タイ	1,700 人	1,700 人	+0.0%	1.0%	0 人	0 人	-	0.0%
シンガポール	1,600 人	1,500 人	+6.7%	0.9%	0 人	0 人	-	0.0%
その他	4,400 人	3,800 人	+15.8%	2.5%	18,000 人	15,900 人	+13.2%	38.9%
合計	173,000 人	130,300 人	+32.8%	100.0%	46,300 人	44,700 人	+3.6%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等13,400人を含む。

